

いつも、ここに、ゆりのこと。

ゆりこと

Vol. 1
2018 SPRING




〈特集〉ユリとともに。

下久保花卉園 下久保直幸さん (鹿児島市)

Lily's Seasons

幸せを咲かせて





ユリは「こども」。

たっぷりの愛情をあたえれば
一生懸命答えてくれる。

毎日毎日 しっかりと成長し、
素晴らしい表情を見せてくれる。

だからこそ、
お客様からいただく
「最後まで咲いたよ。」
「長ーく持ったよ。」
という言葉が なによりの喜び。

わたしたちが頑張れる
魔法の言葉なのです。

ユリは、
わたしたちに幸せを運んでくれる
大切な「こども」。

鹿児島県霧島市 下久保 直幸さん（下久保花卉園）





ユリとともに



下久保直幸さん

(下久保花卉園 鹿児島県霧島市)

鹿児島県の豊かな自然に囲まれながら、大切に育てられているオリエントユリ。

下久保さんの農園は、鹿児島県霧島市にあります。ここは日本の南に位置していますが、冬には雪が降るほど寒い土地。この標高250mにある農園で10月から4月をメインに、4ヶ月ほどの時間をかけてユリを栽培しています。「ユリの魅力は、蕾が最後まできれいに咲いてくれること。」屈託のない笑顔で答える下久保さん。「ユリ作りは土作り」と言う先代の父親の教えを守りながら子供を育てるように大切にユリを育てています。

1本1本、個性的なユリに魅せられて。

「鹿児島というと非常に暖かいイメージがあるんですけど、冬になると雪が降ったりする寒い地域です…」一言一言まっすぐに話す下久保直幸さん。2016年には三代目が生まれ、益々ユリ作りに情熱を傾ける下久保花卉園の2代目です。



長く菊作りを行っていた父親が、15年前から始めたユリ栽培。「メインはオリエンタルユリ。そして、LAユリを少し栽培しており、全部で約30万本ほど栽培しています…」ゆっくりと話す直幸さんは、ユリ作りに携わって今年で10年。とても楽しそうに話してくれます。



作業場では、スタッフのみなさんが箱詰めをしています。「品種によっては、木姿がゴツゴツしたような形になってしまい、箱に20本入らなかつたり、10本になってしまったり…」まるで子供の巣立ちを見守り優しく背中を押すような、丁寧な作業がとても印象的でした。



(写真上)

蕾が傷まないように、葉が傷つかないように、細心の注意が払われています。

(写真中)

自宅横の選花場に置かれた直売の代金箱がなんともレトロ。

(写真下)

高地にあるハウスから採花したユリは、トラックで選花場に運ばれ、素早く水揚げされます。





わたしの街の花屋さん

普段使いから特別な日のギフトまで、

地元で愛される街の花屋さんは、生活に潤いと彩りを今日も届けています。

日本全国でお客様にどんなユリがどんな装いで届けられているか
覗いてみましょう。

福岡県北九州市



ナチュリカ和田生花店 **和田 翔さん**

四角い背の高い器の両サイドに、まっすぐな立ち姿のユリを挿すことで生まれる空間が、花々が纏う優しい時間を身近に感じさせてくれます。新規オープンのお祝いとして空間に彩りを添えるのにぴったりのアレンジです。

LA ユリ(パピア) 動画▶



福岡県北九州市



(株)若松花のチモト **迫田 一基さん**

オリエンタルユリの高さを活かしたシャープなアレンジは、器からまっすぐ伸び上がる柳と茎のラインが視線をユリの花へ導きます。形や色のハーモニーとコントラストを細部にまで気を配る迫田さんは、デザインだけでなく花のポテンシャルを最大限に引き出すためのケアも怠りません。

オリエンタルユリ
(マセルノ) 動画▶



Spring's

季節のアレンジレシピ

季節の行事や冠婚葬祭などのユリを使ったアレンジ・花束を
How to make 動画でお伝えします。

フローリストが話す言葉や仕草などちょっとした工夫が使える
レシピ動画からぜひご覧ください。



ユリは女性に捧げる花

ホワイトデーの花束

気品ある白ユリが「ありがとう」「だいすき」
の気持ちをストレートに伝えます。

江頭宏和さん (株) 花いちもんめ
(奈良県天理市) 動画▶



工夫が詰まったバック花束

春は別れと出会いの季節

持ち帰りに不安のない花束はお客様への
思いと工夫がいっぱい詰まったバック
花束がいい。

竹歳真理子さん Flower Me-you
(大阪府豊中市) 動画▶



お客様をお迎える額アレンジ

春のウェディング

ゲストをお迎える華やかなお花は黄色
LAユリ(パビア)がぴったりです。



野口静香さん 花ののぐち
(福岡県糟屋郡) 動画▶



2018年 春 リリーアンバサダー、始まります。

ユリの魅力を広く伝え、新たにユリのファンを作るため、2017年10月27日駐日オランダ王国大使館 大使公邸で行われた発表認定式において、リリープロモーション・ジャパンが推薦し、駐日オランダ王国大使より認定された全国45人のリリーアンバサダーは正式に認定されました。



駐日オランダ王国大使館に全国から集まったリリーアンバサダー。



エバートヤン・クライエンブリック農務参事官から手渡された認定書。



リリーアンバサダーのサポーター『LILY』のボーカル 福島拓也さん。

リリーアンバサダー便り

2018年全国から選ばれた45人のリリーアンバサダーがFacebookを通じてユリの魅力を発信しています。ユリの物語をお楽しみに

リリーアンバサダーFBページ▶



生産者
リリー
アンバサダー

JA ふかや 深谷ゆり部会 ハツ田農園 ハツ田 善彦さん

ユリの生産に携わり16年、「まだまだ日々勉強」だと話すハツ田さんは、LAユリを周年出荷し、21の市場と取引をされています。贈られた人に喜ばれるようなユリを作りたい、そんな熱い気持ちで日々ユリに向き合っています。

ハツ田善彦さんインタビュー動画▶



市場
リリー
アンバサダー

(株) JF 兵庫県生花 梅田生花市場 廣津 一步さん

入社30年、ユリ担当20年のキャリアを持つ廣津さんは、生産者の想いと苦労をその身に刻み、生産地訪問を重ね続けている実直な人柄。多くの方にユリの魅力を知っていただき手に取って頂くためにセリ人視点で情報発信しています。

廣津一步さんインタビュー動画▶



生花店
リリー
アンバサダー

フラワーズ ステーション～アイカ 小畑 勝久さん

母親の生花店で幼少期より花に触れてきた小畑さんは、ご自身のお店を立ち上げて17年。学ばれてきた美術デザインと生産者さんとの交流で得た知識は、お客様への提案に活かされているとのこと。切花の命を大切に、お客様にお届けしています。

小畑勝久さんインタビュー動画▶



Lily Ambassador Information

2018年1月から1年間、
『2018リリーアンバサダー』のポスターが市場に貼り出されます。
このポスターを見かけたら撮影し、
ハッシュタグ「#ユリで思いをつたえたい」をつけて
FacebookやInstagramなどのSNSで投稿してください。
ユリのスタイルブック「YOURLILY」を抽選で、
毎月1名様にプレゼントいたします。
是非みなさんも、どしどし投稿してみてください。



SNSへの投稿の仕方

Facebook や
Instagram の
アカウントを
作りましょう。



リリーアンバサダー
のポスターを見かけたら
写真を撮りましょう。



ハッシュタグを付け、
SNSで発信して
ください。



ハッシュタグ
#ユリで思いをつたえたい

2018年から始まるリリーアンバサダープロジェクトのテーマは『ユリで思いをつたえたい。～何でも無い日に、ありがとう。』。全国のリリーアンバサダーがどんなユリの表情を見せてくれるのか？ハッシュタグ「#公認リリーアンバサダー」で検索し、SNSで覗いてみてください。



www.lily-promotion.jp

